秋田県立図書館広報
秋田県立図書館だより
Vol.105
令和８年10月発行

どうぞ、図書館へ



秋田県立図書館　館長　関谷　洋之

「最近、本を読んでいますか?」こう尋ねられて、少し答えに困る方もいらっしゃるのではないでしょうか。先日、稲田豊史さんの『本を読めなくなった人たち コスパとテキストメディアをめぐる現在形』を読みました。スマートフォンやインターネットなど、私たちの身の回りに情報や娯楽があふれる中で、以前のように本を読むことが難しくなくなっている人たちの実情が紹介されています。個人的にも、そして図書館職員としても思い当たることが多く、大いに共感し、納得しました。

「本を読む時間がない」「読みたい本はあるけれど、なかなか読み始められない」「読み始めても集中できない」そうした経験は、もはや決して特別なことではないのかもしれません。私たちの生活は便利になった一方で、次々と届く情報に追われ、まとまった時間をかけて一冊の本と向き合うことが難しくなっているようです。

では、そうした時代に図書館は何ができるのでしょうか。私は、その一つが、本と人との距離をもう一度近づけることだと思っています。その役割を担っているのが図書館職員です。

それをあらためて考えさせられたのが、ＮＨＫの夜ドラ『税金で買った本』です。図書館の日常や、職員と利用者とのさまざまな関わりが描かれています。特に心に残るのは、職員の姿です。雇用形態にかかわらず、職員の多くが本を心から好きで、司書としての専門性と矜持を持って仕事に向き合っています。そして、利用者一人一人の言葉に耳を傾け、その人が何を求めているのかを考えながら接しています。

『本を読めなくなった人たち』を読み、『税金で買った本』を観る中で、私は、本を読む人が減っていると言われる今だからこそ、図書館職員の役割はますます大切になっているのではないかと感じています。

図書館職員の仕事は、本の貸出しや返却への対応だけではありません。利用者が求める資料や情報を探すレファレンス、新たに購入する資料を選ぶ選書、資料を分類・整理して利用しやすくする仕事、子どもたちの読書を支援する仕事など、多岐にわたります。一見すると目立たない仕事が多いかもしれません。しかし、本を必要としている人のもとへ届けるためには、幅広い知識と経験、そして資料を読み解く専門性などが求められます。

『税金で買った本』というドラマのタイトルからは、図書館の本が多くの方々に支えられ、皆で共有する財産であることにも思いが及びます。だからこそ、図書館員は、集めた本や情報を大切に生かし、それを必要とする人へ確実に繋いでいく責任があります。

本を読むことから少し遠ざかっている方も、どうぞ気軽に図書館へお越しください。何か目的があっても、なくてもかまいません。静かな場所で過ごしたいときでも、何かを調べたいときでも、偶然の一冊に出会いを求めるときでも。図書館は皆様の様々な思いに応えられる場所です。

本を手に取ること、ページを開くこと、ほんの数ページを読むこと、そして「こんな本があったのか」と思うこと。その一つ一つが本と出会う大切な一歩なのだと思います。

図書館が県民の皆様にとって、本や知識と出会い、心豊かな時間を過ごすことのできる身近な場所であり続けられるよう、私たち図書館職員も努めてまいります。そして、図書館を利用する楽しさを一人でも多くの方に知っていただき、皆様の日々の暮らしに寄り添う身近な存在となることを願っています。



県立図書館閲覧室の書棚



蔵書を一冊ずつ点検する司書

特集

県立図書館は様々な情報を県民の皆様に届けています

『サービス向上のための評価アンケート』結果

県立図書館では、今後の図書館サービスの向上に活かすため、利用者の皆様へ『サービス向上のための評価アンケート』を行いました。その結果をまとめたものの一部を紹介します。

■実施期間　令和８年９月３日（木）～10日（木）　７日間　※９月９日（水）は休館日
■実施方法　閲覧室でアンケート用紙配付による調査・Web上のフォームによる調査
■回答者数　延べ379人（内有効377人）　※前回は令和６年度に館内配付のみで実施

◆調査項目と回答結果

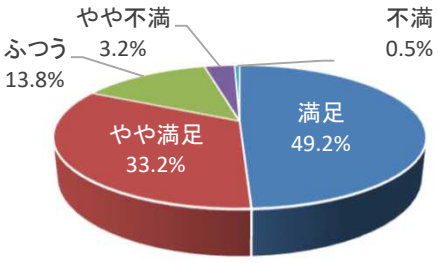
1　回答者についての質問

■年齢
年代については、中高年、高齢者の利用が顕著であり、40代～70代で75.3%を占めました。
■住所
秋田市内の方が90.9%、その他が9.1%でした。県外からの来館者は4名でした。
■利用目的　※複数回答可
77.8%の方が自分の趣味や楽しみでの利用でした。続いて、個人や仕事のための調査、資格試験のための利用がそれぞれ10%を超え、生涯学習施設としての図書館本来の役割や機能に沿った利用が多いことがわかりました。
■利用頻度
月に2～3回の利用が33.3%と最も多く、続いて月1回が17.1%、週に2～3回の利用が16.5%でした。

2　図書館サービスについての質問

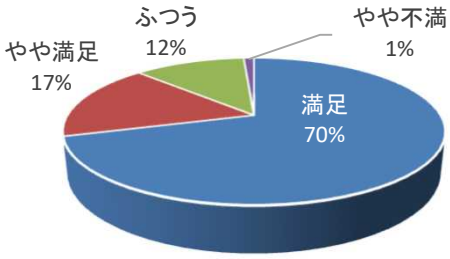
①本館が提供している資料（図書、雑誌等）について、満足していますか。

資料が充実しているとの評価を多くの方からいただきました。前回より満足度が上昇しています。具体的な指摘・要望があった部分は、今後の参考とさせていただきます。



②本館の職員の対応について、満足していますか。

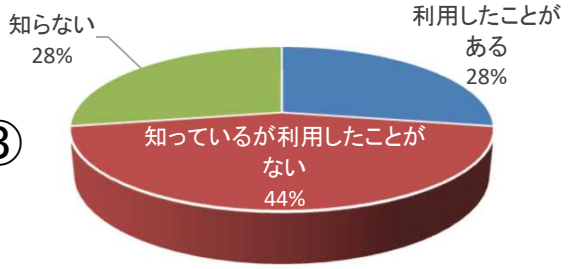
多くの方から、「親切」「丁寧」という肯定的な評価をいただきましたが、一方で自由記述には厳しいコメントもありました。快適にご利用いただけるよう、職員全体でスキルアップとサービスの改善に取り組んでまいります。



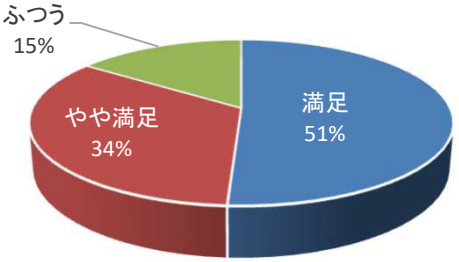
③生活や仕事等の課題解決サービスについて、知っていますか。また、利用したことがありますか。
④利用した人はこのサービスについて、満足していますか。

約7割の方が知っていました。また、「満足」が前回より増加しています。今後も課題解決サービスの周知を図り、利用者数の増加と満足度の上昇に取り組んでまいります。

③



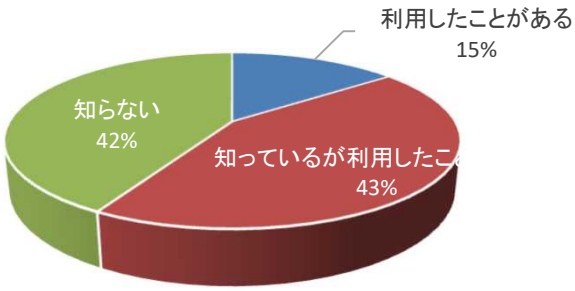
④



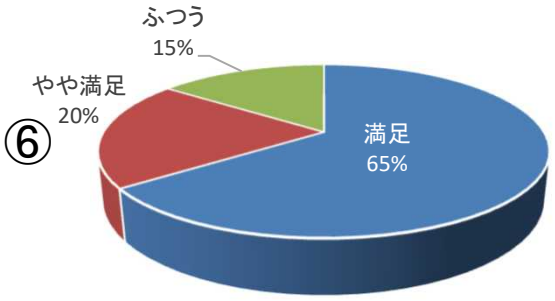
⑤レファレンス・サービスについて、知っていますか。また利用したことがありますか。
⑥利用した人は、このサービスについて、満足していますか。

認知度は前回とほぼ同じでした。実際に利用した方は少ないものの、満足度は高く、「不満」とする回答はありませんでした。引き続きサービスの周知と職員のレファレンススキルの向上を図ってまいります。

⑤



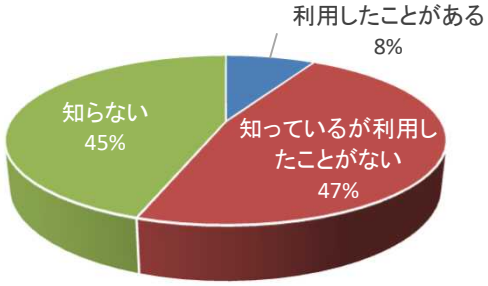
⑥



⑦視覚に障害を持つ利用者向けのサービスについて、知っていますか。また利用したことがありますか。

前回より「知らない」が若干減少し、「利用したことがある」が増加しています。引き続き本サービスの周知・充実を図ってまいります。

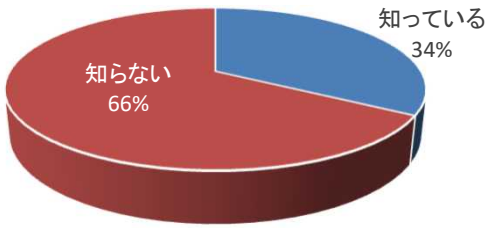
⑦



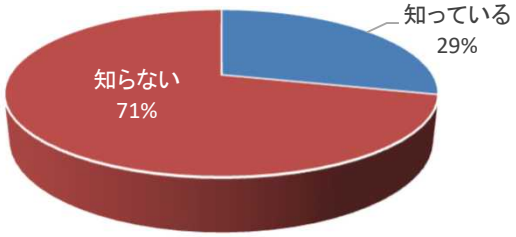
⑧県立図書館が、市町村立図書館等を支援する役割があることを知っていますか。
⑨県立図書館が、小中学校や高等学校、特別支援学校へ資料の貸出しを行っていることを知っていますか。

どちらも認知度が低くなっています。市町村立図書館や学校図書館への支援は、来館者向けサービスや郷土資料の収集等と合わせ、当館の大きな役割の一つです。今後も県民の皆様に理解していただけるよう取り組んでまいります。

⑧



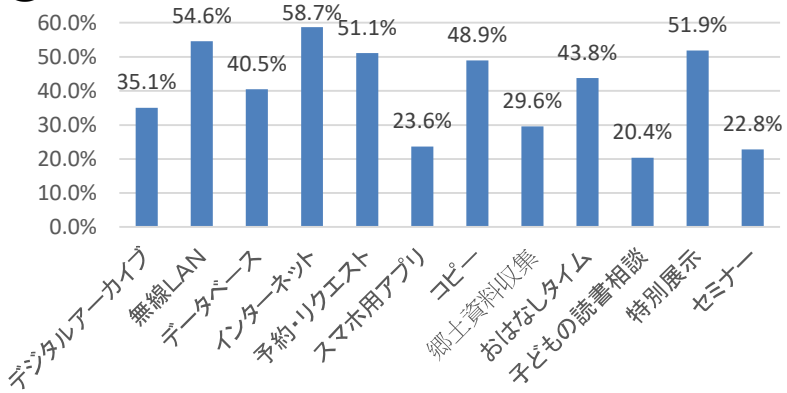
⑨



⑩県立図書館では様々なサービスを行っていますが、それらについて知っていますか。※複数回答可

すべての項目で認知度が前回よりも高くなりました。今後も一層活用していただけるよう諸サービスの充実・周知を進めてまいります。

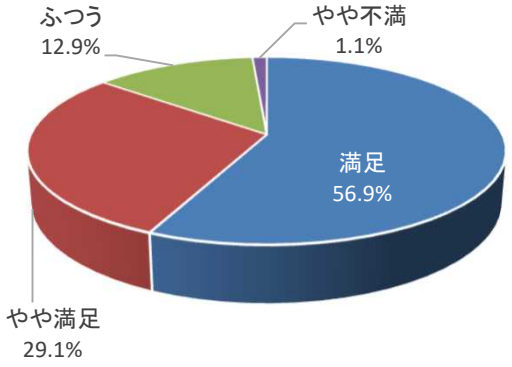
⑩



⑪全体として本館のサービスについて満足していますか。

満足・やや満足を合わせると86%となる高評価をいただきました。今後も満足度の向上に全職員で取り組んでまいります。

⑪



Pick up　～各チームからの話題～

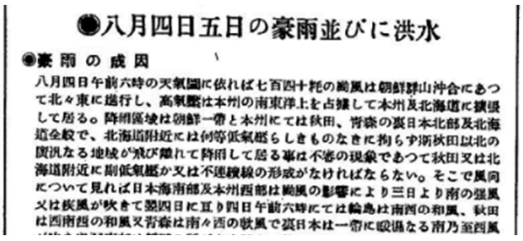
図書資料チーム

『秋田県気象月報』の公開について

『秋田県気象月報』は、秋田測候所（現・秋田地方気象台）が明治33(1900)年１月から刊行していた月刊誌です。県立図書館所蔵の明治35(1902)年～昭和38(1963)年の古いものは当館のデジタルアーカイブで公開していますが、所蔵していない一部の年月に関しては欠落した状態でした。この度、秋田地方気象台の協力により、欠落していた部分をデジタル化し、追加公開しました。

これにより、明治から昭和半ばにかけて秋田県内で災害をもたらした大雨や大雪時の気象状況、地震の概要や被害状況等を簡単に調べられるようになりました。ぜひご利用ください。

URL　https://adeac.jp/akita-pref/catalog/01-ref-C-378480


◉八月四日五日の豪雨並びに洪水

◉豪雨の成因

八月四日午前六時の天氣圖に依れば七百四十粍の颱風は朝鮮半島沖合にあつて北々東に進行し、高氣壓は本州の南東洋上を占據して本州及北海道に擴張して居る。降雨區域は朝鮮一帶と本州にては秋田、宮城の裏日本北部及北海道全般で、北海道附近には何等低氣壓らしきものなきに拘らず殊に秋田以北の廣汎なる地域が殊に離れて降雨して居る事は不思の現象であつて秋田又は北海道附近に副低氣壓が又は不連續線の形成がなければならない。そこで風向について見れば日本海南部及本州西部は颱風の影響により三日より南の強風又は疾風が吹きて第四日に至り四日午前六時にては輪島は南西の和風、秋田は西南西の和風又宮森は南々西の軟風で當日本は一帶に吸込なる南乃至西風

『秋田県気象月報』昭和７年８月

デジタルアーカイブ『秋田県気象月報』

情報チーム・サービスチーム

teens’（ティーンズ）コーナーのレイアウト変更について



場所は2階閲覧室右奥、調べ学習コーナーの隣です

teens’コーナーは、13歳から19歳までの10代の皆さんのためのコーナーです。読み物のほか、進路・部活・人間関係・心や体についてなど、ティーンズ世代の悩み解決に役立つ本をそろえています。

このたび、より快適にご利用いただけるようレイアウト変更を行いました。壁面に新しい棚を設置し、「生きる」をテーマにした本、雑誌、大型本、子ども読書支援センター支援員おすすめ本を配架しています。また、文学コーナーが広くなり、より多くの作品をご覧いただけるようになりました。この機会に、ぜひ新しいteens’コーナーをご利用ください。

企画・広報チーム

「遊学舎」に県立図書館コーナーができました



おすすめ　県立図書館コーナー

地域活動や市民活動の拠点として親しまれている秋田県ゆとり生活創造センター「遊学舎」内に、「秋田県立図書館コーナー」を設置していただきました。気軽に楽しめる小説を中心に、３か月ごとに入れ替えていきます。

「県立図書館までは少し距離がある」「遊学舎を利用するついでに本を眺めてみたい」という方は、ぜひお立ち寄りください。本との素敵な出会いや、新しい地域活動のヒントが見つかるかもしれません。

貸出しや返却の方法は、遊学舎にお尋ねください。なお、県立図書館で借りた本の返却はできませんので、ご了承ください。

Event　～イベント・催し物のお知らせ～

■近代美術館との連携展示

特別展示「アートの小宇宙（ミクロコスモス）」

近代美術館で所蔵する日本画・版画・立体作品などから、大きさが40㎠以内の小さな作品を紹介します。小さな中にも作者の巧みな表現技術や想いがつまった濃密な世界をお楽しみください。あわせて県立図書館の蔵書から関連資料を展示します。

【期間】　12月10日（木）から１月19日（火）まで
【時間】　午前９時30分から午後５時まで
【会場】　２階特別展示室
【入場料】無料

秋田県立図書館だより　Vol.105

発行年月　令和8年10月
編集発行　秋田県立図書館
住　　所　〒010-0952　秋田市山王新町14-31
TEL(018)866-8400
FAX(018)866-6200